

第19号

有機健康 つうしん

遠赤青汁通信 (H23.4.1 発行)

新商品も続々登場！お客様の
お声が商品作りに繋がります。



遠赤青汁株式会社

〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1
TEL フリーダイヤル 0120-148-162
ホームページ <http://www.enseki.com>

地域再生事業も、はや十年

安心・安全な素材は土作りから

「このままではいかん。何とかしなければ」
弊社が耕作放棄地対策に取り組んで、はや十年が来ようとしています。

愛媛県西条市は柿の栽培が盛んな土地でした。背の高い柿の木に登っての作業。栽培農家の高齢化が進みはしごに上って作業するのも危険を伴います。次第に栽培をやめてしまふ農家さんも増え、耕作放棄地となつていきました。

使われなくなった土地が荒れていくのは本当に早い。雑草が生い茂ると、木々が伸び蔭がからまり次第にジャングル化していくのです。

「もつとききれいな農地もあるのに、どうしてこんな荒れた土地を借り受けてまで直していくのだろう？」。背丈よりも高い木々が生い茂り、草に覆われた荒れた土地を耕作する作業は無駄な様にも思われていました。

高岡は耕作放棄地を「宝の山」と呼びます。有機栽培で作物を育てる者にとつて、残留農薬は大きな問題です。見た目にきれいな土地は既に農薬が入つていて、それを取り除くまでに何年もかかります。その農薬の心配が耕作放棄地には無い。数年間も放置されているうちに、自然に洗い流され木々の成長で浄化され、土はもとの清らかさを取り戻し

ているのです。今でこそ、耕作放棄地を農地へ生まれ変わらせる事は日常的に業務としても行われています。ユンボで木々を払う事も、石拾いも慣れたものです。しかし、その道のりは試行錯誤の連続でした。堆肥が完全に乾いておらず臭いが出て近隣の方に迷惑をおかけした事もありました。

いただいた
表彰状



愛媛県農業会議様より、耕作放棄地についての功績を称えるとの賞状をいただきました。ありがとうございました。



受賞企業の事例発表を行いました。



背丈の何倍もある木を高岡がユンボで倒していきます。



開墾を始めた当時の高岡。(若いですね)ジャングル化した耕作放棄地の前で

あれからもう十年が経とうとしています。皆様は安心・安全な食品をお届けするために、素材の基礎となる土作りをしつかりやりたい。また、耕作放棄地の再生は企業にとつても地域にとつてもチャンスなんだと言う事を広くお伝えしたいと、今後も遠赤青汁は挑戦し続けてまいります。

がんばる女子高生！

城山門前祭り 販売体験



東温石けん

※遠赤青汁はキャリア教育
民間コーディネーター事
業に参加しています。



地元の愛媛県立東温高校商業科の生徒さんとのコラボ商品「東温石けん」。地元の愛媛新聞にも紹介され、高校生達の元にも問い合わせが来るようになってきました。

活動の範囲は拡大し、ついには地元を飛び出し松山市へ（高校は東温市）松山城の城下門前祭りに石けん販売ブースを出展しました。

春や昔、十五万石の城下かな

子規

松山の産んだ俳人正岡子規にも詠まれた松山城。最近では年末のドラマ「坂の上の雲」でも人気のスポットです。古くからの城下町の風情を残したお城下沿いに市を立て、「門前祭り」が開催されました。

店頭のPOPや看板も高校生達が考えてくれました。泡を立てて、道行く人に触ってもらい「どうですか？しつとりしますよね」などと販売トークも勉強中。一般の方に売るのはまだドキドキする様ですが、販売体験としてはますますの出来たったのではないのでしょうか。これからもがんばろう。

日墨交流400周年によせて

※在メキシコ日本国大使、小野正昭様よりお手紙をいただきました。

二〇〇九年及び二〇一〇の二年間に渡り開催された日墨400周年は、昨年末をもって成功裏に終える事ができたこの報告を兼ねたお礼状でした。

また将来的には、メキシコ独立200年記念公園にも陽光桜の植樹を行いたいとのご希望を寄せていただきました。

今後世界平和への願いと共に、陽光桜を贈り続けてまいります。



小野大使には、大統領官邸での記念植樹の際にも大変お世話になりました。(桐の文が入ってます)

農地再生に挑む

遠赤青汁(株)では、二〇〇二年より耕作放棄地の農地活用に取り組んでいます。

●耕作放棄地の現状

耕作放棄地とは、以前耕地であったもので、過去一年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地と定義されています。

耕作放棄地はこの二十年間増加しています。耕作放棄地面積は、昭和六十年までは、およそ十三万ヘクタールで横ばいでしたが、平成二年以降増加に転じ、平成十七年には、埼玉県面積に相当する三十八・六万ヘクタールとなっています。また、農地面積が減少する中、耕作放棄地面積率は、昭和六十年から平成十七年にかけて約三倍に増加しています。

(農林水産省ホームページより)

「農地再生に挑む」では、放置された農場を再生し、有機圃場として生まれ変わる様子をシリーズとしてお伝えしています。

平成二十一年に農林水産省が実施した全国市町村を対象としたアンケートによれば、耕作放棄地の発生要因は、全ての地域類型において「高齢化・労働力不足」が最も高くなっています。「地域内に引き受け手がない」も比較的高く、地域内の耕作者が減少していることが大きな要因となっています。

不足する人材を補い、有機農産物として付加価値をつけ販売する。こうしたサポートが地元企業に求められています。

●耕作放棄地が地域に与える影響

耕作放棄地は、周りの環境に様々な悪影響を与えるおそれがあります。耕作放棄地が及ぼす周辺地域の営農環境への悪影響としては、病害虫・鳥獣被害の発生、雑草の繁茂、用排水施設の管理への支障等が考えられます。

耕作放棄地への取り組みは、皆様へ届く食品の安全性の維持にも影響してきます。



耕作放棄地の新しい活用事例として、愛媛県外からの見学者も多くいらっしゃいます。耕作放棄地の悩みは全国的なものとなっています。

弊社が耕作放棄地に取り組み始めて、はや十年が来ようとしています。開墾され農地として蘇った土地も増えました。

最初はケールだけを育てていた圃場も有機ウコン、有機シモン芋、有機にんにく、かぼちゃ、さつまいも等、遠赤青汁の健康食品素材となる有機野菜や芋類が育っています。かぼちゃやにんにくは、昨年から有機野菜として関東、関西方面の有名スーパーでも販売が始まりました。

今後も耕作放棄地への取り組みを続けると共に、愛媛で育った野菜達を健康食品また有機素材として広く全国の皆様にお届け出来る様、努力して行きたいと思っています。

木下さんの

ゆづぎの話 ～寒さとケール～

この冬はとても寒かったですね。霜が降りたり、雪をかぶったり人もケールも大変でした。

もともと強い野菜と言われるケールですが、今年の冬は成長が遅くなっていました。例年ならば、二月には収穫が終わるのですが、今年は約半月も遅くなりました。

ケールが凍ったように冷たくなってしまう、寒さで成長が遅くなる事を凍みる(しみる)と言います。昼中の陽気で一旦溶けますが、また夜になると凍みる。この繰り返します。

白菜のような野菜は、霜が降りただけでも外側の葉が焼けた様になり、使えない状態にまでなってしまう。寒さに耐え、栄養をぎゅぎゅっと閉じ込めたケールは葉の色も濃くなります。

「頑張って冬を乗り越えたケールだからおいしいんよ。人間も負けられんねえ」収穫も寒さで大変だと思いますが、農場には笑いが響きます。



「ケールが凍みていかんわい」

(2011年2月14日撮影)

農地が生まれ変わるまで



高岡の背丈よりも高い木々が生い茂る耕作放棄地。



重機で草を払い、木々を倒していきます。



もともとは河原。石がごろごろ出てくるのをひとつひとつ手で拾って除いていきます。



ジャングル化した土地から、雑草などが取り除かれいよいよ農地へと生まれ変わります。



有機たい肥をまいて、土の元気を育てていきます。何度も何度も鋤く事で土の色が変わってきます。



ケールが育つ有機農場へ生まれ変わりました。

EVENT

「スーパーマーケット トレードショー」

(二〇一一年二月八日～十日)

に出展してきました。

二月に東京ビッグサイトで開催された「スーパーマーケットトレードショー」にはじめて出展いたしました。流通業界に最新情報を提供する展示会だけあって、出展者数や来場者も多く、三日間とも大勢の人出でにぎわいました。



お客様、おひとりおひとりに、商品を話を熱く語る高岡。身振り手振りも、つつい大きい。



遠赤青汁もお客様に、遠赤ケールスーパーゴールドの試飲や黒にんにくの試食、ケール石けんを体感していただきました。また、近日発売商品も展示して、お客様の声を多く頂戴しました。発売に向けて、改善点やご要望など反映していきたいと考えています。

高岡もお客様に青汁の開発秘話、開墾の体験談など熱心に説明していました。高岡は展示会だけでなく、百貨店の店頭でも熱い思いで販売しています。見かけた際は、気軽に声をかけてみてください。

おにゅーだね♪

新しい年は
新しいグッズで
スタートします！



遠赤青汁は、百貨店の催事販売や展示会でアピールするために、オリジナルグッズがあります。

それは法被(はっぴ)と幟(のぼり)。どちらも青汁の緑を基調とした、いかにも青汁屋さんの感じがの仕上がりになっています。緑色だと青汁が服にかかっても気にならないのが最大のポイントで宣伝広告だけでなく、実用的と言えます。

その法被達も長年使ううちに色あせてしまったり、破れてしまったりして数が不足するようになりました。今回リニューアル計画が持ち上がり、新しく作り直す事に。最初は今までと違うものをと進めていたのですが、結局のところ青汁らしさを追求していくと今のデザインに戻ってしまいました。

今までよりも少し新しい？遠赤青汁らしさを伝えるグッズで、売場を盛り上げていきます。



四国八十八箇所・七十一番札所 弥谷寺 (いやだにじ)

香川県三豊郡三野町大字大見乙70

「獅子の岩屋」

この弥谷寺の名は谷が多いことに由来しています。大師堂までの262段と108段の石段をはじめ、急勾配の石段と坂道が続きます。ここは死者の霊が集まってくるといふ言い伝えがあって、地元では死者が出ると、その霊を背負う格好をして水場まで登って降ろし、後ろを振り向かず山を降りるという風習が残されているそうです。

大師堂の奥には獅子が大きく口を開いたような形の洞窟があって、「獅子の岩屋」と呼ばれています。弘法大師が幼少の頃、学問に励んだ場所だと伝えられており、その名は獅子の遠吠えが仏の説法に通ずることに由来しているといわれています。



境内には桜もたくさん見えます。



思わずパクっ! 愛犬も仲良く健康に



はくっ!

我が家の「ちいちゃん」、普段よりオーガニックのドッグフードを食べています。おじいちゃんが青汁を飲もうとすると、大っきなつぶらな瞳で「わたしにもちょうだい♪」と訴えます。知らん顔をしてとぼけていると、手をトントンして「ひとつちょうだい」をします。青汁を食べてとっても元気な「ちいちゃん」です。

静岡県浜松市 O様



ペットも大事な家族。いつまでも一緒に元気でいたいですね。

お便り
大募集!!

採用させていただいた方には粗品を進呈させていただきます。

お客様からのご質問やご意見をお待ちしています。

青汁商品に関するご意見、ご感想、ご要望。また日々の出来事や感動した事など。

おたより広場にメッセージをお寄せください!!

〒791-0311 愛媛県東温市則之内甲2225番地1 遠赤青汁株式会社

有機健康つうしんおたより広場 係あて

mail:aojiru@enseki.com

※お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で使用することはありません。

イラストや写真も
大歓迎です!



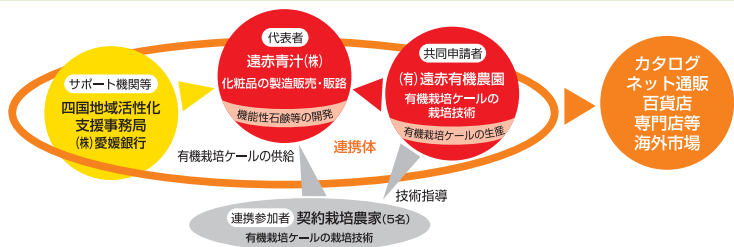
ケール夢石けんは農商工連携事業で生まれました。
地産地消の逸品です。

農商工連携とは?

「農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係をを超えて協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うこと」です。すなわち、これまで農林漁業者だけ、商工業等を営む中小企業者だけでは開発・生産することが難しかった商品・サービスを両者が協力し合うことで創り出し、市場で販売していくことで、売上げや利益の増加を目指そうとする取り組みのことです。

<http://j-net21.smrj.go.jp/expand/noshoko/index.html> 農商工連携パークより抜粋

連携体の構成と活用する経営資源



遠赤青汁では2009年より農商工連携事業として、ケールを活用した石けん作りに取り組んでまいりました。遠赤有機農園がケール栽培の技術を契約農家さんへ提供、遠赤青汁が石けんへの加工並びに販売を行います。

新商品のご紹介

有機ケールGOLD(酵素入) 配合

ケール夢石けん

(焼塩夢石けんK)

無添加

香料・着色料
防腐剤は不使用



¥3,150 (税込)

伯方の塩にケールGOLD、ヨモギ葉、ウコン葉などの保湿成分を配合。水や熱を加えない常温圧縮製法で、植物原料の品質を損なわずに成型しました。